【vHeroes】Dell EMC PowerStore テクニカル セッション Q&A一覧

#	質問	回答
1	統合していくとおっしゃっていましたが、将来的にはPowerStoreに一本化されていくというロードマップということでしょうか？	ミッドレンジは将来的に統合されるとお考え下さい。現行製品も継続販売可能です。EOLは事前にアナウンスします。
2	CPU0が故障するとLBGによる圧縮が効かなくなりますか？	構成図からはその動作になりますが、システムとしてはnodeフェイルオーバーとなります。
3	ダイアグラムを見ると、LBG や SAS コントローラは片側の CPU の下にぶら下がっているように見えます。仮想マシンが利用するコアによって性能差が厳密には生まれそうですが、vSphere の機能で仮想マシンが使うコアを固定するなどしてすでにチューニング済みなのでしょうか？（計測できるほどの差にはならなそうですが……）	ソフトウェアレベルでは誤差の範囲になります。XeonとチップセットC620のアーキテクチャですので他システムでも同様です。
4	後日NVMeシェルフがリリースされた際に、既存のSASからのマイグレーションなどはできるようになるのでしょうか？	現時点ではプラン策定中です。
5	標準のethernetモジュールの10Gポートと拡張したethernetモジュールの10GポートとでLAGを作ることは可能ですか?	V1ではTモデルのEmbedded Moduleの4-Port Cardのポート0,1のみとなります。他のポートでLACP不可。
6	10GBase-T のメザニンの説明に 1 G の記述もありましたが、上位スイッチとのリンクが 1 Gbps だけでの利用もサポートされるということでしょうか？ その場合、ノード数に制限などはありますか？	システム構成上ポート0,1は10Gが必須、ポート2,3は1GでもOKです。
7	この図におけるAppliance＃４（Gen2）もＴシリーズという理解で正しいですか	正しいです。
8	マスターアプライアンスに障害が発生した場合は、どのような挙動になりますか？	ルール従い他のアプライアンスに引き継ぎます。（6/11に補足します）
9	シエァードナッシング（メモリ情報を共有しない）のNodeをクラスター構成する利点を教えてください。	・リソース管理が容易 ・アプライアンス追加が容易 ・新機種対応が容易 ・異機種混在が可能 ・Nodeの抜き差しが簡易 ・コストメリットが出せる
10	リソースを共有しないスケールアウトとはどのようなメリットがあるのでしょうか？	同上
11	初期構成時にSANにした場合途中からUnifiedに変えたりすることはできないという認識でしょうか？	SANからUnifiedへの変更は不可です。初期化が必要です。
12	ボリュームをどのアプライアンスに作成するかは、ボリューム作成時に選択できるのでしょうか？	選択可能です。
13	資料スキップされた部分も後で見返すことはできますか？	資料は後日公開します。（6/11でもカバー）
14	コントローラVMがHAしない場合、ノード障害が発生するとそこに乗っているコントロラVMにアクセスしているサーバはアクセス停止が発生するのでしょうか	ユーザVMは通常HA動作となります。　“Controller VM”は、両ノードで動作していて、同一のストレージ領域をアクセスできます。
15	ユーザVMが使うデータストアはControll VM経由のアクセスなのでしょうか？	論理的にはControllVM経由です。パススルーテクノジー等を使いオーバーヘッドを削減しています。